

# さがみはら

発行 相模原市総務課市史編さん室

# 市史編さんだより

第10号 2003.1.7

## 呉市史編さん事業視察報告

呉市は明治22年(1889)に鎮守府(海軍の根拠地として全国4か所に設置)が置かれ、さらに多くの戦艦等の建造に当たった呉海軍工廠が設立されたことから、軍港都市としての歴史を歩むこととなります。終戦後は、米占領軍や英連邦占領軍(オーストラリア軍を中心に、イギリス、インド、ニュージーランド軍により構成)が進駐し、昭和25年(1950)朝鮮戦争が起きると、占領軍に加え国連軍(英連邦朝鮮派遣軍)が駐留し、昭和27年(1952)サンフランシスコ講和条約発効後は、国連軍が昭和31年(1956)まで駐留していました。

相模原市にも昭和12年(1937)に陸軍士官学校をはじめとする陸軍の施設が設置され、終戦後はそれらの施設に米占領軍が進駐し、現在もその多くは日米安全保障条約とそれに基づく日米地位協定により米軍基地として使用されています。

今回の視察はこうした、「軍都」、「占領軍の駐留」という相模原市と共通の歴史を持つ呉市の市史編さん事業について、お話を聞きました。

呉市では、戦後の混乱期や復興期の様子を明らかにする資料が余り残されていないことから、その時期の資料を収集するために、占領軍として進駐していた国への調査を行うこととなり、昭和63年(1988)からオーストラリア、ニュージーランド、アメリカにおいて資料調査をしてきました。その結果、オーストラリア戦争記念館をはじめとする各国の機関において、占領軍の活動報告等の文書や写真、フィルム等多くの資料を収集し、さらに、元駐留軍関係者から、個人的に撮影した写真を数多く収集することができたということです。

こうして、海外で収集された貴重な資料により、占領当時の街の様子、人々の生活の様子が明らかになり、その成果は「呉市史」や写真集「呉の歩みⅡ 英連邦軍の見た呉」等にまとめられ、市民から高い評価を受けているということです。

(主査 小原 隆)

写真：旧呉鎮守府司令長官官舎(国指定重要文化財) 明治22年に軍政会議所として建てられ、25年から鎮守府司令長官官舎として使用される。38年の芸予地震で崩壊後に再建され、戦後は昭和31年まで占領軍の司令官官舎として使用されていた。

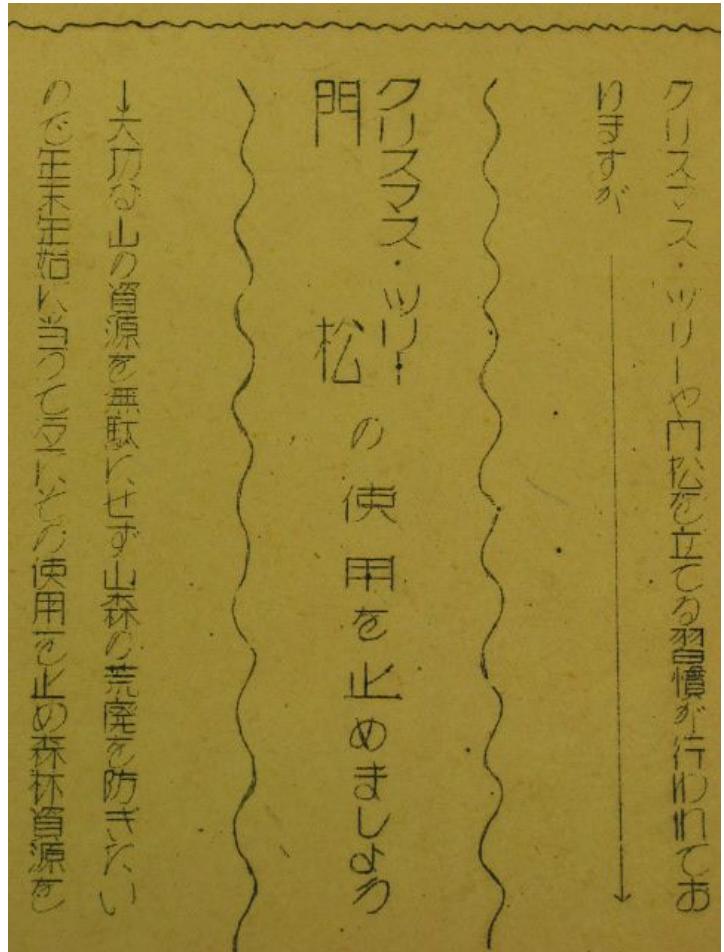


## 資料紹介 ～上溝・今井家寄贈資料から～

右の写真は、今井家資料に含まれていたチラシ（部分）です。B5判ガリ版刷りで、「近年とみに、クリスマス・ツリーや門松を立てる習慣が行われておりますが、(中略) 年末年始に当って互にその使用を止め(中略) 本運動に御協力願います」とあります。

昭和30年代に全国的な展開をみる新生活運動は、その始まりが昭和初期にさかのぼります。農山漁村の経済更生を目的としたその運動は、終戦後、「新日本の建設」を目標に掲げ、国の支援により生活改善普及事業として、新たに推進されていきます。相模原には、その拠点のひとつとして、「相模原町上溝生活改善委員会」が昭和24に設置されていたことが、今井家資料からわかりました。

写真のチラシには、年代の記載はありませんが、資料の状態や内容から、これらの運動の中で発行されたものと考えられます。生活のむだを省き、ぜいたくを慎み、合理的な生活の確立を目標に掲げた儉約の対象が、クリスマスや正月の慣習にまで及んでいた当時の様子が伺えます。



上溝・今井家寄贈資料点数

分類	点数
図書	688
たより	5,011
新聞	3,312
チラシ	1,345
写真	7,222
郷土史	1,174
社会教育	8,557
体育	1,387
行政	523
その他	1,375
合計	30,594

今井家資料は、昨年度収集分の整理作業がすべて終了し、資料総点数は3万点を超えました(左表)。また、このチラシのような市民生活に関する資料のほか、市制施行(昭和29年)記念事業に関するものや基地問題に関わる資料などその内容も多岐にわたっています。市民の方から寄贈を受けた資料ひとつひとつに残されている情報は、戦後相模原の変化を、くらしの視点から伺い知るための重要な手掛かりとなりそうです。

(調査員 五味 ゆかり)

## ◇市史編さん審議会及び市史編集委員会を開催

12月4日(水)、平成14年度第2回市史編さん審議会を開催しました。新委員松崎笙子氏(女子美術大学芸術学部教授)の委嘱式の後議事に入り、事務局が「市史編集委員の委嘱及び第1回編集委員会の開催結果について」「現代図録編編さん作業の進捗状況について」「事務室の建設について」「市の財政状況について」説明をしました。委員からは市の財政状況を考慮して現代図録編の刊行時期を心配する声が出ましたが、平成16年11月刊行で変更がない旨確認しました。

また12月13日(金)、第2回市史編集委員会を開催しました。事務局が、現代図録編編さん作業の状況として、執筆者打合せ会の内容、写真収集の状況を報告したほか、市の財政状況についての説明をしました。実際に他市の図録編を手に取りながら本のサイズや、取り上げるテーマについて検討し、各委員から「サイズはA4でソフトカバーが良い。」「市域の都市化、近代化のダイナミックな変化が感じられる内容で、見る・読む・イメージする、という形で伝えられるものが良い。」等、活発な意見交換が行われました。

次回は審議会、編集委員会ともに、3月に開催する予定です。

(主任 増島 亮子)

## 前市史編集室の写真から 8

今回は昭和41年に撮影された上溝地区本町の様子です。道路は主要地方道相模原・茅ヶ崎線で写真奥が作の口方面になりますが、昭和46年に国道129号に上溝バイパスが完成するまでは自動車の交通量が多く、昭和42年の新聞記事には、「歩行者、毎日ヒヤヒヤ」という見出しがあるほどです。



近年、狭かった歩道も拡張され、カラー舗装になり、アーケードも無くなるなど(左の写真)、町並みも変化してきました。

夏祭りの時などをはじめ、上溝の中心商店街として今でも賑わいを見せています。

(主任 方波見 淳)



## 編さん室の動き (11月～12月)

月	日	内 容	
1 1	1	市史編さんだより第9号発行 県立公文書館へ資料調査(小原主査・小田原調査員)	
	2	西門商店街の魚信へ資料調査(小原主査)	
	7	神史協講演会に参加(県立公文書館/小田原・五味調査員) グループウェア(庁内ネットワーク)工事实施	
	9	市史講演会開催(講師：神崎特別顧問) 参加者154人	
	13	第2回現代図録編執筆者打合せ会開催	
	15	編集委員会町田委員と自然編(地形地質関係)の内容について打合せ	
	19	磯部宮際遺跡E地点出土品確認(河本学芸員)	
	21	県立公文書館へ資料調査(小田原・五味調査員) 刊行計画等についての主管会議開催(本庁)	
	22	市内米軍施設視察(編集委員7人・現代図録編執筆者2人参加)	
	26	博物館収蔵生活資料等写真撮影(30日まで)	
	29	事務室工事着工 町田市田端遺跡視察(河本学芸員)	
	1 2	4	平成14年度第2回市史編さん審議会開催 平成15年度予算財務課ヒアリング (本庁/安立室長・田所主幹・井上副主幹・方波見主任)
		5	神史協研修会に参加(伊勢原市こども科学館/井上副主幹・河本学芸員)
		6	県立公文書館収蔵写真資料の複写について打ち合わせ(小原主査)
10		国立公文書館、昭和館へ資料調査(小原主査・五味調査員)	
13		第2回編集委員会開催	
17		広島県呉市市史編さん室・山口県史編さん室へ視察調査 (小原主査/18日まで)	
19		くにたち郷土文化館へ特別展視察調査(方波見主任・増島主任)	
25		定期監査(本庁/安立室長・田所主幹・井上副主幹・方波見主任)	
27	読売新聞に「市史編さん室・公文書整理に奮闘中」の記事が掲載される 仕事納め式(本庁)		

☆市史編さん室の新しいスタッフです。

笠原靖子(かさはら・やすこ)臨時主事補・・・仕事の中で、相模原市の歴史とともに、自分の幼少時代を思い出しても懐かしく感じています。12月からたった2か月間のお仕事ですが、微力ながら職員の皆さんのお手伝いできればと思います。

### 「さがみはら市史編さんだより」第10号

発行 平成15年1月7日

編集 相模原市総務部総務課市史編さん室

〒229-0021 神奈川県相模原市高根3-1-15 市立博物館内

TEL 042(750)8025 / FAX 042(750)8061